

土木構造・材料論文集投稿要領

1. 内 容

- (1) 土木工学全般、主としては構造・材料工学に関する調査・研究・開発について執筆したもので、理論的なものよりむしろ技術的・工学的に有益で実用性の高いものを歓迎する。できれば官界・業界・学界共同のものが望ましい。
- (2) 論文集には、投稿原稿の「論文・報告」「資料・解説」「外国語論文抄訳」の他、依頼原稿の「招待論文」「技術展望」「講演論文」等も掲載する。
- (3) 投稿原稿は未発表であること、また、他学協会誌等（外国雑誌等も含む）へ二重に投稿していないことを原則とする。
- (4) なお、既発表の「論文・報告」であっても、内容を追加したり、いくつかの論文を統合する、等して再構成したもの、あるいは外国語論文を和訳したものでもよい。ただし、外国語論文に関しては、それが既に発行されている場合でも「論文・報告」（査読有）として受け付ける。また、「外国語論文抄訳」（査読なし）の場合も既発表論文でも受け付ける。
- (5) 個々の「論文・報告」が上記(3)(4)に抵触あるいは該当するかの判断は編集委員会で行う。この判断を容易にし、また正確を期すため、投稿にあたって、既発表の内容を含む場合、あるいは関連した内容の場合には、投稿申込票の所定欄に「過去の発表の経緯」を記載するとともに、論文の脚注にもその旨を明記すること。なお、外国語論文抄訳の場合には別刷等を必ず添付すること。

同じ著者が外国語論文を和訳して投稿された論文の取扱い

	「論文・報告」	「外国語論文抄訳」
外国語論文は既発刊である場合	○	○
論文投稿中の場合	×	×
査 読	査読あり	査読なし

2. 投 稿 資 格

論文集への投稿原稿の第一著者は、(一社)九州橋梁・構造工学研究会会員（KABSE 会員）もしくは(公社)土木学会会員であることとする。投稿申込み時に(一社)九州橋梁・構造工学研究会（KABSE）に入会申込みをする場合も、会員として認める。

3. 投 稿 区 分

投稿原稿の区分は、その内容に応じて次の3種類とする。

- (1) 「論文・報告」 …… 調査・研究・開発の論文・報告
- (2) 「資料・解説」 …… 「論文・報告」には適さないが、有益な情報を提供するもの
- (3) 「外国語論文抄訳」 …… 外国語で発表・出版された有益な情報を抄訳したもの

4. 投稿申込方法、申込先および期限

- (1) 投稿を希望する場合には、(一社)九州橋梁構造工学研究会（KABSE）のホームページから、土木構造・材料論文集「投稿申込票」をダウンロードのうえ、Google フォームにて投稿申込期限までに申し込む。申込みを受け次第、受領確認を返信する。「投稿要領」、「原稿の書き方」、「原稿作成例」および「KABSE 論文作成テンプレート」は、(一社)九州橋梁構造工学研究会（KABSE）の下記ホームページからダウンロード可能。ダウンロードできない場合はその旨ご連絡下さい。

KABSE のホームページ : <http://www.kabse.com/> （各種刊行物→土木構造・材料論文集をクリック）

- (2) 投稿申込先 …………… Google フォーム（ホームページに掲載予定）
- (3) 投稿申込期限（期限厳守） …………… 5月31日

5. 原稿提出期限等

- (1) 査読用原稿の提出期限：本文（PDF）を Google フォーム（申込受付メールに記載）で送付 …… 6月30日
- (2) 最終原稿の提出期限：本文（PDF）および概要（PDF）を Google フォームで送付 …… 10月31日
- (3) 発刊 …… 12月（予定）

[注] 査読用原稿、最終原稿ともに提出時に原稿チェックシートで原稿の体裁を確認の上、チェックシートも送付すること。最終原稿は編集委員会では修正を加えず、そのまま収録されるので、論文体裁については全て著者の責任に帰するものとする。（掲載は第39号より J-STAGE へと移行されています）

6. 原稿の書き方

投稿にあたっては、「土木構造・材料論文集原稿の書き方」「原稿作成例」（（一社）九州橋梁構造工学研究会（KABSE）の上記ホームページからダウンロード可）を参照して下さい。

- (1) 投稿原稿はワープロでA4用紙に所定のレイアウトで執筆し、PDF ファイルで提出する。
- (2) 論文集は著者からの最終提出原稿をそのまま発刊する。
- (3) 投稿原稿1編の目安は8ページ程度とし、上限を10ページとする。

7. 査読手続き

- (1) 投稿された「論文・報告」「資料・解説」の原稿については、（一社）九州橋梁・構造工学研究会論文集編集小委員会（以下、本委員会）で選考した査読者に査読を依頼する。本委員会では査読結果に基づき掲載を決定する。
- (2) 投稿された「外国語論文抄訳」の原稿については、本委員会または本委員会で選考した適任者がその内容を審査する。
- (3) 査読に当たって、本委員会は著者に対して問い合わせ、または内容の修正を求めることがある。
- (4) 査読結果に応じて、本委員会は投稿原稿の「論文・報告」と「資料・解説」の区分の変更を求めることがある。
- (5) 原稿に関する照会または修正依頼を行った後、所定期日以内に著者から回答や提出がない場合には、本委員会は査読を打ち切り、論文集への掲載を取りやめる。

8. 掲載料

論文集への掲載料として以下に示す金額を、掲載確定時に納めること。なお、第一著者が KABSE 会員の場合は 15,000 円、第一著者が KABSE 非会員の場合は 30,000 円とする。

論文掲載料

第一著者が KABSE 会員	第一著者が KABSE 非会員
15,000 円	30,000 円

9. 別刷

別刷は 50 部単位で実費にて申し受ける。別刷料金は 8 頁を基準として、概ね 12,000 円程度（税抜き）。

10. 著作権

土木構造・材料論文集に掲載された個々の著作物の著作権は著者に属し、（一社）九州橋梁・構造工学研究会（以下、KABSE）は編集著作権をもつものとする。また、著者は、土木構造・材料論文集に掲載された個々の著作物について、著作権の行使を KABSE に委任することとする。ただし、著者自らがこれを行うことは妨げない。

11. その他

- (1) 投稿原稿の受付日は、査読用原稿提出期限の日付（2024.6.30 受付）とする。
- (2) その他の投稿に関する問い合わせは、下記の本委員会編集委員長までご照会下さい。

12. 問い合わせ先（投稿申込みや査読原稿のメール受付は行なっておりません）

〒870-0397 大分市一木 1727

日本文理大学 工学部 建築学科 池見 洋明

Phone：097-524-2643

E-mail：ikemih@nbu.ac.jp